



昨年9月連休の琵琶湖一周サイクリング (遙学園 中・高生)

感謝 水上の友

発行 社会福祉法人
大阪水上隣保館
〒618-0001
大阪府三島郡島本町
山崎5丁目3-18
発行人 黒川 芳 朝
編集 広報委員会
法人事務局 075-961-0711
FAX 075-961-1144
<http://www.osakasuijorinpokan.com/>
印刷所 (有)木村桂文社

今も担当の先生がほしい

遙学園卒園生 山本ひみな

私は小学一年生のときに兄と一緒に遙学園にきました。ある朝、母が布団の中で動かず、亡くなっていて、小学校の先生に知らせに行き、そのまま兄と私は遙での生活が始まりました。弟は他施設に入所し、その後、遙にきました。いきなりの施設生活で戸惑いがあったのを覚えています。

施設の生活はにぎやかで、いつも誰かがいて、わからないことがあれば、先生や友だちが教えてくれました。でも、友だちや先輩たちとの関わりでは苦労したことも多かったです。先輩たちのいじわるで、先生に相談したりしましたが、その場限りの注意で、すぐに仕返しや同じことを繰り返され、次第に相談することもなくなりました。

でも、いろんな経験ができました。人とのつながりがありました。私には週末里親さんもいましたので、卒業後も多くのことを教えてもらいました。

卒園して一人暮らしが始まった最初の夜は、風が強く、窓や玄関がガタガタ鳴って、怖かったです。今まで、二

二〇一九年標語
わたし(神)の目には
あなたは高価で美しい
—旧約聖書・イザヤ書 四二章四節—

十四時間、先生たちがいて、何かあれば、いつでも話ができたのですが、誰もいないので、怖くて友だちを呼び出しました。それが、今の主人です。

一才上の主人とは、二十才のときに結婚しました。主人やご家族は「施設というものは知っていたけど、どういう子どもがいるかなどは全く知らなかった」と言っていました。私も何をどのように伝えていいのかかわからず、特に質問されることもなく、結婚の了解を得ました。

園でも調理実習はしていたのですが、結婚直後は料理はうまくできず、オムレツを大失敗して笑われました。それから、ネットのレシピなどを見ながら、食事も作れるようになりました。初めての出産も保健師さんが訪ねてくれたり、わからないことは「子育て広場」に通い教えてもらいました。しんどいことがあったときは遙の同期の友達に愚痴を聞いてもらったりもします。今では一才、三才の子どもたちを託児所を利用しヤクルトレディをしながら育てています。

今は遙学園の子どもたちは大学まで行けるようですし、就職に失敗しても遙に戻って生活を立て直すことができると聞いています。二十才過ぎまで、野球やバレーボール大会等で、みんなで集まり、近況を語り合える場があると聞きました。少し羨ましく思います。

私は家から近いので、ふらっと遙に家族で立ち寄るのですが、先生たちも異動したり、結婚や子育てで退職されていることがあり、仲の良い先生たちがいなくなるのは寂しいです。先生たちは早朝から夜遅くまでの仕事で、大変だと思いますが、少しでも長くいてくれると私も安心です。

卒園して、今まで就労、結婚、出産、子育て等、夢中で過ごしてきました。今思えば何が困っているのか、何を相談したらいいのかも考える余裕もありませんでした。遙学園に帰ると、いつも先生たちは喜んで、主人や私の子どもたちの相手もしてくれました。これからは、もう少し、頼って生活してみようと思います。できれば、卒園しても私は担当の先生が欲しいです。
(手記の執筆名は仮名にしています)

暑中お見舞い申し上げます

皆、勝手なことを言わず、仲たがせず、心を一つにし思いを一つにして、固く結び合いなさい。

新約聖書—コリントの信徒への手紙一 一章一〇節—

令和に改元されました。企業も個人も「自分さえ良ければ…」という風潮が蔓延した平成が終わりを告げ、「他者を思う」新たな時代の幕開けであることを願います。

暑さ厳しき折柄、皆様のご健勝を心からお祈りいたします。

二〇一九年 盛夏
社会福祉法人 大阪水上隣保館

第五十六回 桜バザールイラストレーター・黒田征太郎さん来館!



四月十三日 (土)、桜バザールに世界的なイラストレーター・画家の黒田征太郎さんが来館されました。平素からご支援頂いている佃イデア鶴橋風月代表・五影隆則様のご縁で、大阪水上隣保館に興味と共感をお持ち頂き、今回のライブ・パフォーマンスの実現に至りました。

法人内各施設を丁寧に見学されてから『ゆりの礼拝堂』で二十分ほどトークショーが行われました。やんちゃばかりしていた自分が何故絵描きになったのか、など笑顔で話されました。また、黒田さんは、若い頃貨物船に乗っておられたそうで、大阪水上隣保館のルーツともいえる舟(はしけ)のこともよくご存じでした。

その後、青空の広がる屋外に出て、ライブ・ペインティング。遙学園と乳児院の間の壁面に、先ず黒田さんがチューリップの絵を描かれ、準備して下さった色とりどりのクレヨンを手渡ししながら「自由に描いていいよ!」と呼びかけられると、遙・ひびきの子どもだけでなく、地域の子ともたちも次々と集まってきて、一緒になってお花や草や虫たちの絵が描かれました。とて

も楽しいパワフルな光景でした。

黒田さんは八十歳になられるのですが、子どもたちと一緒に描かれる姿は無邪気でいきいきされていて、その笑顔からはとてもそのような年齢は感じられません。また、優しいタッチで温かみのある絵柄は、子どもたちの心を感じてくれます。この壁画を黒田さんと一緒に描いた時間は、私たちが遙学園の子ともたちにとってもずっと宝物になっていくと思います。黒田さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

この絵をどのように保存するか心配になりましたが、先生は「絵の上から自由に落書きしても良いし、自然に風化していても、その経過そのものが



中央・黒田征太郎さん

アート」「何なら書き直しに来るよ」とおっしゃっていました。この進化する作品と共に私たちも成長できれば、と、そんな気持ちになりました。

大阪心斎橋・アメリカ村に『BIG STEPP』というビルがありますが、その正面に『PEACE ON EARTH』と言う大きな言葉を広げて羽ばたこうとする鳥人の壁画があります。一九八三年に地元商店会の依頼で先生が描かれたものですが、今でもアメリカ村の代表的なモノUMENTとして圧倒的存在感を示しています。

このビルの地階に、先生のアトリエ & ギャラリー『KAKABA』があります。ぜひ一度訪れてみて、またライブペインティングに挑戦できればと思います。(FPPひらかた 石川三千代)

社会福祉法人 大阪水上隣保館

理事長	元大阪府教育長 (学)山崎学園理事長	黒川芳朝
常務理事	児童福祉施設運営学園	村井徹
理事	衣目公認会計事務所所長	衣目修三
	元島本町民生委員	妹尾節子
	児童委員協議会会長	早川須賀子
	株式会社エイ・アール	延原正海
	代表取締役社長	岩村一教
	元弥栄の郷施設長	高木哲夫
	元島本町民生部長	川淵敬子
監事	社会福祉大附属社会福祉事業部 部長	秋山智久
	島本町主任児童委員	落合洋司
評議員	福祉哲学研究所所長	軽達昇
	島本町第四地区福祉委員	加藤正子
	日本基督教団牧師	藤井敬久
	流通科学大学教授	徳光久
	株式会社外務女将	山崎博幸
	リントリースピリッツ 山崎蒸溜所工場長	杉本美由紀
	名古屋千代子福祉会館 代表	山田裕子
	元島本町立第二小学校校長	大西健治
	大阪府母子家庭福祉推進員 相談役	石伏宣夫
	元山崎幼稚園園長	伊延なほみ

法人	山崎幼稚園	園長	大森弘子
主任	山崎園	園長	大森弘子
事務局長	山崎園	園長	大森弘子
児童福祉施設運営学園長	山崎園	園長	大森弘子
児童福祉施設運営施設長	山崎園	園長	大森弘子
児童心理治療施設ひびき施設長	山崎園	園長	大森弘子
大阪水上隣保館乳児院院長	山崎園	園長	大森弘子
特別養護老人ホーム弥栄の郷施設長	山崎園	園長	大森弘子
認定こども園藤の里保育園長	山崎園	園長	大森弘子
大阪保育福祉専門学校長	山崎園	園長	大森弘子
大阪水上隣保館附属診療所長	山崎園	園長	大森弘子
ゆりの礼拝堂名誉館長	山崎園	園長	大森弘子
さくら園	山崎園	園長	大森弘子

みんなの広場



カット絵・小三 みお

私のお兄ちゃん 中三 女子

私にはお兄ちゃんがいます。三才と
しうえです。私のお兄ちゃんはおも
ろいです。いつも笑わせてくれます。
私のお兄ちゃんはこわいです。ちゃん
としかってくれます。私のお兄ちゃん
はかっこいです。なんでもおしえてく
れます。友だちと仲よくできて、やさ
しくて、人の気持ちを考えて行動でき
るお兄ちゃんがうらやましいです。で
も、お兄ちゃんも人間だから、時には
落ち込んだり、悲しんだり、いらだっ
たり、めそめそしたりもします。
でも、私はそんなお兄ちゃんが大好
きです。部屋のかたづけが苦手で、
ゆうじゆうふだんでも、お兄ちゃんが
大好きです。あれもこれも、ぜんぶぜ
んぶお兄ちゃんだからです。世界で一
人だけの私の家族。両親がいなくなっ
たとき、お兄ちゃんが言ってくれまし
た。「二人でがんばろう」私は兄ちゃ
んとはちがうけど、三才もしがはな
れているけど、それでも私はお兄ちゃ
んと二人で一人です。

音がくかんしようかい

小三 男子

今日は音がくかんしよう会でした。
ぼくは、ピアノリストさんが八十八の
音を六びょうでひいたのがすごいとお
もいました。ピアノのきよく四きよく
ひいてくれました。ぼくは、きもちよ
くなりました。

農業体験

中二 男子

僕はゴールデンウィークに池田市に
ある園芸高校に行き、トマトの誘引を
しました。最初は先生がやってるのを見
ながらやっていくうちにうまくでき
てすこく楽しかったです。
その次はいろんな植物に肥料をあげ
て、よくこんな物で育つなと思いまし
た。それから、そら豆と玉ねぎの収か
くをし、もって帰るとすこくおいしかっ
たです。先生が高校でとれたコーンを
キャラメルポップコーンにしてくれま
した。遙に帰ってから自分で作るとあ
まり上手にできませんでした。

園芸高校の先生はポップコーンの名
人です。もらったきゆうりの苗は今で
はすこく大きくなりすくすく育ってい
ます。

僕は園芸高校に行って学んだ事は、
食の大切です。いつもあたり前に食べ
ている野菜はすこく育てるのが大変で
これからは食の大切を大事にしてい
たいです。僕の将来は園芸高校に行き
農業に関わる仕事をしたいです。



▼生まれてくる環境を選ぶこともでき
ず、スタート地点から大きなハンディー
を負った子どもたちが、それでも「生
まれてきてよかった」と自分自身をか
けがえのない存在として受け入れられ
るようになるための、粘り強く困難を
伴う日々のとりくみを心から応援して
います。 大阪市 大橋貴美子

▼毎回心を正して読ませて頂いていま
す。子どもたちがボランティアに出か
けたり、職員の方が海外に出るなどの
記事嬉しく読みました。

私共も若い時代の二年間を海外で過
したことがあり、それは人生観をとて
も豊かにしてくれました。さまざま
文化や生活習慣を超えて人がともに生
きていけることを知ったらもっともっ
とやさしくなれると思います。

京都市 工藤和男
早弓

▼相川栄蔵先生お亡くなりになられた
のですね。まだまだ教えて頂くことが
たくさんあったのにとても残念です。
去年の桜バザーの帰りに旧職員四人で
京都に行き相川先生にお会いでき本当
に良かったと思っています。

出雲市 三上富士子

「第五十六回桜バザー」のお礼

今年の桜バザーは、四月十三日(土)
が好天で、例年になく賑わいでした。
十四日(日)はあいにく雨天になりま
したが、今年も大声コンテスタなど参
加型のイベントを増やし、多くの人々
に楽しんでもらうことをテーマとし二
日間無事、開催する
ことができました。

2019年度
桜バザー会計報告

総収入	¥2,842,723
総歳出	¥2,290,461
純益	¥552,262

(常務理事 村井徹)

計 報

中野義雄さん

(二〇一九年一月二十一日召天)

(株) 浪速産業元会長・賛助者

辻恵美子さん

(二〇一九年四月二十四日召天)

(株) ロックペイント元会長(元当
法人監事) 夫人・賛助者

平田礼子さん

(二〇一九年五月三十日召天)

(株) シンコー元会長(元当法人評
議員) 夫人・賛助者

長年に亘る貴いお働きに心より感謝
し、御霊の上に神様の祝福が豊かにあ
りますようにお祈り致します。

児童養護施設

遙 学 園

子ども元気一杯 職員へトヘト

今年の「ゴールデンウィーク」は十連休。例年ならこの期間に一回は映画やレジャー施設への外出や、外食を楽しむ日を設定しています。しかし、今年は長い連休ということで、楽しめる日ももっと作れないか、という職員たちの希望があり、そのときの子どもの興味や好きな遊びに合わせた企画がいくつか立てられました。

園内では宝探し、パラバルーン遊び、園外では丹波市にある丹波自然運動公園など、日頃なかなか行けない大きな公園へお弁当を持って遠出などです。他にも学校の体育館を借りてバレー

ボール、グラウンドでサッカーを企画するホームもありました。天気が悪い日もゆりの礼拝堂でプロジェクターを使って映画館なみのDVD鑑賞会や、連休最終日には屋外でのバーベキューなど、子どもたちがエネルギーをもちますことのないような工夫をしました。バーベキューでは高校生の男の子が自分が食べることを後回しにしてお肉を焼き、小学生に先に振る舞うなど大活躍。大きな公園への遠出でも、大型遊具やジャンボスライダー、地下迷路、子どもたちは暑い中でも思い切りかけまわりの、目いっぱい遊びました。つい

最近まで階段もゆっくりだった子が梯子をすいすい登るなど、びっくりすることもありました。帰りは、抱っこを求めて泣いたり座り込んだり、車の中でぐっすり寝込んでしまう子もいました。行き道などは、横に犬を乗せた車が並走していると、「犬やーかわいー」と釘づけになったり、トンネルを通過するたびに「怖い…」としゃべり声小さくなる子など、素直で新鮮な反応を見せてくれました。

職員は、複数回のお出掛け引率でへとへとになりながらも、子どもと一緒に遊べる時間はちよつとした言動に笑えたり目を見張ったりと、日頃より少しリッチな企画にする、というだけのものですが、楽しい時間の共有の収穫は大きいものがありました。

(児童指導員 福嶋こころ)



児童養護施設

翼

はじめての子ども園

今年から近くの「認定子ども園」に通い始めた年中のAちゃんとBちゃん。二人とも性格は違いますが、ホーム・年齢共に一緒なので、一緒に遊ぶことが多い二人です。今までは、翼の職員や翼の友達の中で生活していましたが、初めて翼から離れて、地域の子もたちとすごします。

二人とも人見知り・場所見知りがあり、子ども園入園に向けて職員一同、大丈夫かな？崩れないかな？毎日登園できるかな？と、とても心配していました。入園グッズを揃えつつ、担当職員が中心となり、子どもたちと気持ちの整理をしていきました。子ども園に通う嬉しさが増す反面、不安もいっぱい、ホームでは不安な気持ちをうまく言語化することが出来ずに、職員を困らせることが多々ありました。

いざ入園すると、不安な気持ちで、職員と分離が出来なくて時間がかかることもありますが、「きつと行ったら楽しめると思うよ。翼で待ってるからまた話し聞かせてね」と声をかけ、何とか送り出すと二人でぎゅっと手を繋いでグラウンドに出ていきます。その二人の後ろ姿を見て、私は涙が出そうになりました。あんなに心配していたの

に、子ども園を楽しもうと頑張っている二人。一日を終え子ども園から帰って来た後は、「お帰り」と笑顔で抱きしめます。その後疲れから大泣きをしたり、少ししたことでも怒ったりすることもありますが、子ども園を一所懸命頑張っている証と受け止めます。

子ども園に通い始めてからは、出来ることがどんどん増え、出来ないことにも挑戦しようと努力している姿を見せてくれます。また、園での生活の話を聞くとお友達の名前を覚えてくれたり、習った歌を歌って聞かせてくれたり、子ども園を楽しめている様子が伺えました。心配していたことが嘘の様でした。

これからも成長していく姿を見守りたいと思います。

(児童指導員 松下和華子)



児童心理治療施設
ひびき

『新任→キノコ→大畑さん』

私は大阪水上隣保館に入職し、ひびきに配属されて五年目です。私が初めて受け持った担当は中学校二年生の終わりに入所してきたTくんです。「お前は新任やから」と何度も言われ続けることや、話しかけても黙り込んで無視を決め込む、ときには口論にもなり、関係を築くことがとても難しいと悩みました。

ある日、些細なことがきっかけで、Tくんが前施設まで約四十kmを歩いて無断外出をすることがありました。わざわざそんな遠くまで歩いて得られるものはあるのか？と、私も同じぐらいの距離を歩いてみましたが、疲労しが残りませんでした。Tくんを含め子どもたちにとって、施設で生活することとは、受け入れたくない現実で、大人には到底理解ができない気持ちもあると感じました。

その後も、小さなトラブルや衝突もありながらも、高等支援学校へ入学しました。学校では無遅刻無欠席で、得意の運動でクラブでも活躍し、国体へ出場。そして就職も決まり、無事に卒業することができました。もちろんひびきに戻ってくれば、暴言でのやりとりや不器用な関わり方で対人トラブル

もありましたが、大人との関わりを求めていたようにも感じました。最初は「新任」と呼んでいた私のことを、次はあだ名で「キノコ」、次第に苗字の呼び捨て、最後は「大畑さん」と呼ぶことに落ち着き、彼に少しずつ受け入れられる存在になったのかなと思っていました。正直特別なことができたとは思っていません。ただ入所から退所まで四年間担当として関わる事ができたのは、とても貴重な経験でした。

子どもにとって高校進学、就職など人生の岐路である場面が多く、お互いに一杯一杯になります。『あれは楽しかったなあ』『しんどかったけど、頑張ってたよ』『しんどかったけど、頑張ってたよ』と気持ちを分かち合い、傍で支える一人の大人として向き合っていきたいと思えます。



乳 児 院

はさみの練習

先日、はさみの練習をしました。はさみを見るのも、触るのも初めてのHちゃん。お手々をグーにしてね。パーにしてね。と声をかけながら誘導するのですが、動くのはHちゃんの口ばかり。お手々をパーと言つと大きな口を開け、グーと言つとおちよほ口に。最後まで、はさみは動かさずに、お口を動かしていました。でも、はさみに触れ大満足で、とてもいい笑顔になりました。

(保育士 社真由美)

初めての担当

生後六日目に乳児院にきたS君。はじめはすーっと心配するくらい寝ていただけで、今は生後一ヶ月になり、起きている時間も長くなり、一緒に遊ぶのが楽しみです。見つめ合っていると口をとがらせているような表情もするし、「ぐびし」を口に持っていく、しゃぶったりしています。日々の成長がとても嬉しく感じています。

(保育士 上野舞香)

お風呂場で

入浴中ポカポカに温まって、真つかな顔のYちゃん。職員が「Yちゃん、たこさんみたいに真つかったか」というと、それを聞いていたHちゃん。「H

ちゃんはウィンナー！」と大声で話してきました。Hちゃんは、たこさんウィンナーを思い出したのでしょうか？その想像力と発想の豊かさに保育士もビックリ。職員の間でもHちゃんのウィンナーの話でみんなが笑顔になりました。

(保育士 坂下美穂)

かわいいRちゃん

嫌なこと、気に入らないことが起こると手をグーにして、全身を震わせて怒る一歳児のRちゃん。顔も怒り方も二歳児のお兄ちゃんそっくりです。

最近、たくさん歩けるようになって玩具で遊んでいるうちに、好きな大人の膝に誰かが座るとやきもちを焼き、泣いて怒る姿がよくみられます。

(児童指導員 平井絵梨)



特別養護老人ホーム

弥栄の郷

八重子先生との縁

「おはようございます」「今日も一日ありがとうございます」「おはようございます」「今日も一日ありがとうございます」

彌栄の郷が開設され二十八年になります。当時入所や利用をされていた方のご家族が介護をされる側となり彌栄の郷へ来られるケースが増えています。

彌栄の郷が開設され二十八年になります。当時入所や利用をされていた方のご家族が介護をされる側となり彌栄の郷へ来られるケースが増えています。

(生活相談員)

中村仁恵



大阪保育福祉専門学校

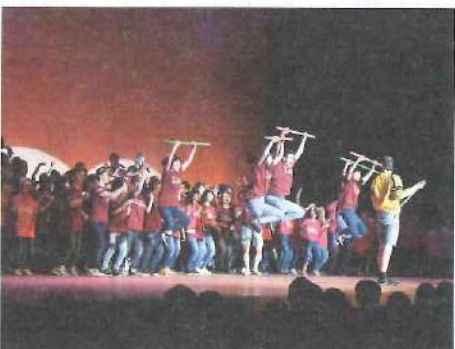
ヤングアメリカンズ(YA)開催十周年

YAは、アメリカのNPO団体であるYAのスタッフが、地域の子どもと共に三日間で音楽とダンスの舞台を作り上げていくイベント。他会場とは違い、HOSEIN共催の会場では地域の子どもに加えて、学生や遙・ひびきの子どもたちが参加しています。

「施設の子どもが、ごく普通の地域の子どもの一人として外に出かけて、他の子どもと関わる機会を設けたい」、「地域の保護者に自分の子どもと同じように施設の子どもの育ちを見守って欲しい」、YAに取り組んだ私たちの思いはここにありました。

もちろん、交流ができてきたのと同じくらい、小さなトラブル(口げんか等)もありました。ただ、そんな時も地域ボランティアの方からは、「子ども同士のトラブルはいつでもどこでも起こること」施設の子どもが参加しているから云々...と、大人が考えすぎるのがよくない」といった意見が出て、トラブルが原因で内向きに考え、YA自体を自粛することだけはないようにしようというところを確認し合いながら取り組んで来た十年でした。支えられていることに感謝です。

(副校長 植田彌生)



学校法人 山崎学園

山崎幼稚園

年長組になって初めての遠足

年長組になり、はじめての遠足で高槻市にある城跡公園に行ってきました。子どもたちは、この日をとても楽しみにしていました。前日におやつを配ると「明日は遠足だあ!」と大喜び。当日は、お天気にも恵まれバスに乗って公園に到着すると、好きな遊具へレッツゴー!お花を摘んだり虫を探したり、幼稚園にはない珍しい遊具で、思いっきり体を動かしていました。

子どもたちに大人気の遊具は、何といっても大きなこの形の「だこすべりだい」。高い所に登って何度も何度も滑っていました。そして、楽しみにしていたお弁当。お祈りをすると「いったんいただきます」とパクパク食べていました。クラスみんなでいたただくお弁当は格別です。

園外保育ではお友だちや先生と楽しく過ごすだけでなく、歩道の歩き方、公園や遊具の使い方、様々な公共マナーも学びます。子どもたちは信号をよく見て渡り、公園に遊びに来ている小さな子どもに順番を譲る姿も見られ、色々なことを学び楽しく素敵な一日となりました。

(教諭 松本宏美)



山崎保育園



生き物大好き

子どもたちは、生き物が大好き！
最近では、散歩道にある水路の中で見つけた小さなエビや魚を保育室の水槽で育てています。

保育園に登園したらすぐに水槽の前に向かい、「少し大きくなっているよー」「魚が餌を食べているよー」など心を弾ませ、目を輝かせています。子ども達は生き物の図鑑を見ながら、何の種類なのか、何を食べて大きくなるのかを保育者と一緒に調べて、生き物の餌になるものを捕まえたりと、毎日成長を見守っています。

生き物の飼育を通して、命の大切さや自然の生き物と触れ合う楽しさを沢山伝えていきたいと思えます。

(保育士 住福千尋)

認定こども園 藤の里保育園



こちょこちょで笑顔

今までの年長者との交流に加えて、新たに『いきいきサロン』と言う地域交流が始まりました。会場に行くと、たくさんの方々に「おはよう！」と元気に挨拶をされていました。「とても嬉しい」の歌を歌い、次に保育園で人気のダンス「パプリカ」を踊りました。その後、年長者とペアを組んで手遊びをしたのですが、手遊びに負けると罰ゲームでこちょこちょされるのです。こちょこちょされるとみんなが笑顔になりました。

手作りのネックレスをみなさんにプレゼントし、「また今度ね」と会場を後にしました。これからも年長者と触れあう機会を大切にしていきたいと思えます。

(保育教諭 杉井尊明)

つどいの広場 ファミリーポートたかつき



定からの健康作り

地元の靴作りのプロ大持進一さんに来て頂き、「お母さんと子どもの足からの健康作り」というテーマで靴選びの大切さについて学びました。十三名の親子が参加され、まずは親子で足のサイズ、形を測ってもらいました。

足に合った靴を選ぶことはとても大切で、成長期の子どもの靴を買い替える(大きくする)タイミングについては、中敷きに親指、小指の型が付くようになったときだそう。靴を履くときは、「かかとトントントント」と歌いながら履くと、楽しくきちんと履けるとのことでした。普段何気なく履いている靴ですが、いろいろなことを知ることができた貴重な時間になりました。

(スタッフ 大西桂子)

ファミリーポートサプリ村野



さくらんぼ広場

ゼロ歳のお子さんとお母さんが集まる「さくらんぼ広場」を毎月一回開催しています。毎回約二十〜三十組が集まり、体操やふれあい遊びをしたり、自己紹介の後は四〜五人のグループになり、日頃の育児のことや地域の情報を交換をして、すぐにうちとけて盛り上がっています。

枚方市助産師会の助産師さんの協力で、気軽に育児相談ができる場も提供しています。またアロマハンドマッサージコーナーもあり、育児に追われているお母さんたちのリラックasできる場にもなっています。広場さぶりは、スタッフだけでなく地域のいろいろな方の力を借りて、子育てを応援しています。

(スタッフ 森 悠花)

社会福祉法人 大阪水上隣保館 [児童福祉 88年]

大阪保育福祉専門学校

〒618-0001 大阪府三島郡島本町山崎5-3-10 TEL.075-962-1115 FAX.075-962-9001

お問い合わせ・お申し込みは



▶お電話で

クイック フクシ

0120-919-294

▶メールで

ケータイからもOK!

pub@o-hosen.ac.jp

▶QRコードで

ケータイサイトから



山崎幼稚園



専門学校・本館・オリブ館



専門学校・中村記念館
みゆき園分室 (1F)



児童養護施設 造学園



児童養護施設 暁 (豊中市)



児童心理治療施設 ひびき



山崎保育園

緑豊かな丘陵部に
創設者の思いがつながる
子どもと障害児者・高齢者の施設が立ち並んでいます

法人敷地内に、
大阪と京都の府境界があり、
建物によっては
大阪府だったり京都府だったり。
大阪からも京都からも
とても便利なところです!



大阪水上隣保館乳児院



大阪水上隣保館附属診療所



地域交流センター・ゆりの礼拝堂



特別養護老人ホーム 野栄の郷



子ども家庭支援センター・
ファミリーポートひちかた (枚方市)



ファミリーポートサブリ村野 (枚方市)



ぼんだのいえ (島本町)



みゆき園



さくら館



認定こども園 藤の里保育園
(高槻市)



ファミリーポートたかつき
(高槻市)

豊かな自然環境の中でキリスト教の愛の精神に基づいた人格形成をします

山 崎 幼 稚 園

〒618-0001 大阪府三島郡島本町山崎5-3-1 TEL.075-961-3341 FAX.075-961-7296

ホームページ <http://www2.yamazaki-k.e>